

(資料) シンポジウム 発表者スライド

開会挨拶・趣旨説明


安原 真人

シンポジウム 平成27年度厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)

薬剤師が担うチーム医療と地域医療の 調査とアウトカムの評価研究

東京医科歯科大学
安原真人

2016.2.11 日本薬学会長井記念ホール



平成27年度厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)

薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究 シンポジウム実行委員会

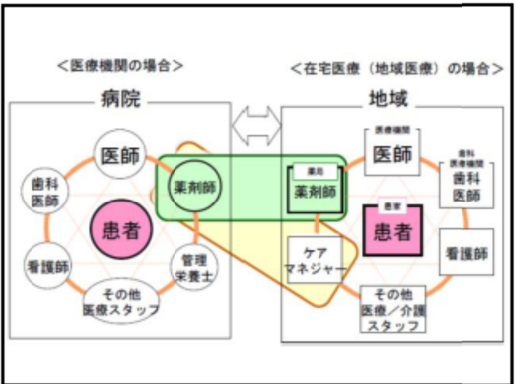
◇研究代表者 安原真人 (東京医科歯科大学)
◇分担研究者 佐々木 尚 (長崎大学病院)
稲垣 中 (青山学院大学)
長谷川洋一 (名城大学薬学部)

◇研究協力者
有澤賢二 (日本薬剤師会) 岩澤真紀子 (北里大学)
奥田真弘 (三重大学医学部附属病院) 川上純一 (浜松医科大学医学部附属病院)
北田光一 (日本病院薬剤師会) 賀野恵子 (鳴門山上病院)
鈴木洋史 (東京大学医学部附属病院) 田辺正樹 (三重大学医学部附属病院)
土屋文人 (日本病院薬剤師会) 永江浩史 (ながえ前立腺センタークリニック)
狭間研彦 (ファルメディコ株式会社) 横田 亨 (神戸市立医療センター中央市民病院)
原 和夫 (望星薬局) 舟越亮寛 (亀田総合病院)
星 隆弘 (日本医療薬学会) 松原和夫 (京都大学医学部附属病院)
山田清文 (名古屋大学医学部附属病院)

チーム医療

医療に従事する多種多様な医療スタッフが、
各々の高い専門性を前提に、目的と情報を
共有し、業務を分担しつつも互いに連携・
補完し合い、患者の状況に的確に対応した
医療を提供すること

チーム医療の推進に関する検討会報告書(平成22年3月19日)



目的

チーム医療の進展や地域医療の拡充
に向けて、薬剤師の担う役割を明確に
し、求められる専門性を活かすための
実践的方法論を確立すること

研究計画

- 日本医療薬学会を母体とする調査研究
- チーム医療推進分担研究(佐々木班)
- 在宅(地域)医療・かかりつけ薬局推進
分担研究 (稲垣班:精神科医療)
(長谷川班:薬剤師研修)

片田佳希、中川俊作、田上裕美、津田真弘、
都築徹教、端 幸代、小高瑞穂、米沢 淳、
萱野勇一郎、矢野育子、南方謙二、坂田隆造、
松原和夫

プロトコルに基づいた薬物治療管理の臨床ア
ウトカム評価 ～TDMオーダを含めたバンコ
マイシン処方設計支援～

医療薬学 42(1)、14-22 (2016)

Katsunori Furuta, Fumihito Mizokami, Hitoshi
Sasaki and Masato Yasuhara

Active topical therapy by "Furuta method" for
effective pressure ulcer treatment: a retrospective
study

Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences,
2015, 1:21

Mai Ikemura, Shinji Nakasako, Ryutaro Seo,
Takahiro Atsumi, Koichi Ariyoshi and Tohru Hashida

Reduction in gastrointestinal bleeding by
development and implementation of a protocol for
stress ulcer prophylaxis: a before-after study

Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences,
2015, 1:33

薬剤師が担うチーム医療と地域医療の 調査とアウトカムの評価研究

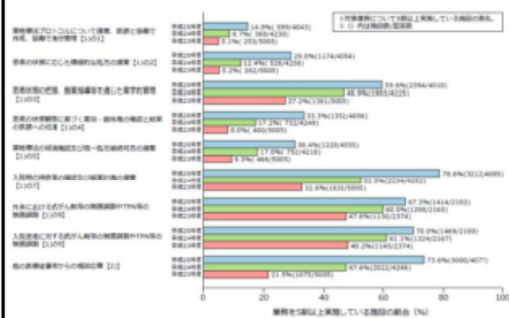
平成25～27年度厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)

平成27年度:実践的方法論

平成26年度:アウトカム評価

平成25年度:先行事例収集

医政局長通知業務の実施施設の割合 (年度別比較)



薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究 シンポジウムプログラム

- 講演1 医療スタッフの協働・連携で作成したプロトコルに基づく薬剤師による
処方入力支援と薬物治療管理
山田 清文(名古屋大学医学部附属病院)
- 講演2 HIV外来における医師・薬剤師協働プロトコルに基づいた薬物治療管理
奥田 真弘(三重大学医学部附属病院)
- 講演3 療養病棟における入院時処方支援プロトコル
賀勢 泰子(磯門山上病院)
- 講演4 地域医療におけるFBPMの現状と可能性
狭間 研彦(ファルマメディコ株式会社)
- 講演5 地域の医師と薬剤師の連携による薬性治療プロトコル
～空間モデルの構築～
原 和夫(望星薬局)
- 講演6 プロトコルに基づく薬物治療管理(FBPM)の導入プロセスと留意点
佐々木 均(長崎大学病院)

薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究

日時: 2月16日(日) 13:00~16:00
会場: 日本薬学会 長井記念ホール

【薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究の概要について】
【家族と薬剤師の信頼に基づく処方箋と電子カルテ連携】
【特に分子標的薬における薬剤師が果たす役割】
【患者教育センターと在宅医療におけるチーム医療】
【地域医療情報ネットワークを活用する薬局-薬局間】
【薬局の求められる機能とあるべき姿】

薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究

日時: 2月22日(日) 13:00~16:30
会場: 日本薬学会 長井記念ホール

① 医師と薬剤師の信頼に基づく処方箋とそのアウトカム
② 外傷化学療法とトリアイン、薬剤師が果たす役割
③ 患者教育センターと在宅医療におけるチーム医療
④ PBPによる薬局アウトカム
⑤ 薬局薬剤師が担う在宅チーム医療
⑥ 遠隔医療・処方箋連携で進化した地域PBPのアウトカム評価
⑦ セルフメディケーションの推進と在宅医療の推進

チーム医療推進分担研究

- ・プロトコルに基づく薬物治療管理(PBPM)
- ・チーム医療によるアウトカム評価
 - 医療の質
 - 安全性
 - 経済性
 - 医療従事者の負担軽減
- ・日本病院薬剤師会による実践事例収集
- ・日本薬剤師会による実践事例収集

在宅(地域)医療推進分担研究

- ・かかりつけ薬局機能をもった在宅医療提供薬局を推進するための新たな基準作成

↓

薬局の求められる機能とあるべき姿
(平成26年1月)

- ・地域包括ケアシステムの中でセルフメディケーションの推進に資する薬局のあり方について調査・検討

「患者のための薬局ビジョン」

～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～

健康サポート機能

- ★ 国民の病気の予防や健康サポートに貢献
- ★ 薬指導医薬品等を適切に選択できるような供給機能や助言の体制
- ★ 健康相談受付、受診勧奨・関係機関紹介等

高度薬学管理機能

- ★ 高度な薬学的管理ニーズへの対応
- ★ 専門機関と連携し、抗がん剤の副作用対応や抗HIV薬の選択などを支援等

↑

かかりつけ薬剤師・薬局

服薬情報の一元的・継続的把握

- ★ 副作用や効果の継続的な確認
- ★ 多剤・重複投薬や相互作用の防止
- ICT(電子処方箋等)を活用し、患者がかかる全ての医療機関の処方情報を把握
- ・一般用医薬品等を含めた服薬情報を一元的・継続的に把握し、薬学的管理・指導

24時間対応・在宅対応

- ★ 夜間・休日、在宅医療への対応
- ★ 24時間対応
- ★ 在宅患者への薬学的管理・服薬指導

※ 地域の薬局・地区薬剤師会との連携のほか、へき地等では、相談受付等に当たり地域包括支援センター等との連携も可能

↑

★ 経機開会・処方箋家

★ 副作用・服薬状況のフィードバック

★ 医療機関等との連携
・医療情報連携ネットワークでの情報共有

★ 医薬品等に関する相談や健康増進への対応
★ 医療機関への受診勧奨

【I-3-1(医療機能の分化・強化)地域包括ケアシステムの推進】-⑤】

かかりつけ薬剤師・薬局の評価

青字【I-3-1(4)】

第1 基本的な考え方

患者本位の医薬分業の実現に向けて、患者の服薬状況を一元的・継続的に把握して業務を実施するかかりつけ薬剤師・薬局を以下のように評価する。

1. 患者が選択した「かかりつけ薬剤師」が、処方医と連携して患者の服薬状況を一元的・継続的に把握した上で患者に対して服薬指導等を行う業務を薬学管理料として評価する。

(H28年1月27日 中薬協総会 個別改訂項目資料)

吉山友二、川上美好、成川 衛、安部好弘、森 昌平、山本信夫、佐々木 均、安原真人

「薬局の求められる機能とあるべき姿」に関する薬局開設者・管理者へのアンケート調査

医療薬学 41(6)、424-434 (2015)

平成25年 (2013年)	111 一般用医薬品のインターネット販売に関する最高裁判決
	21 Kyoto Heart Study の主論文撤回 (Eur. Heart J. (2009))
	214 一般用医薬品のインターネット販売等に関する新たなルールに関する検討会
	614 日本再興戦略 (JAPAN is BACK)
	711 京都府立医科大学による内部調査結果の公表
平成26年 (2014年)	415 イッチ治療薬 品質等の検討・検証に関する検討委員会
	416 高血圧治療薬の臨床研究事業に関する検討委員会
	611 一般用医薬品の品質ルール策定作業グループ
	11 薬局の求められる機能とあるべき姿(報告書)
	14 厚生省がノバルティス・ファーマを薬事法違反で告発
	130 STAP細胞に関する論文掲載 (Nature)
	221 研究論文 (STAP細胞) の掲載に関する調査報告書
	411 高血圧治療薬の臨床研究事業を踏まえた対応及び再発防止策について
	611 改正薬事法施行 (資性導薬品)
	612 改正薬事法施行 (情報の提供及び指導、第29条の2)
平成27年 (2015年)	712 NatureがSTAP細胞に関する論文2稿を取り下げ
	111 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律
	121 臨床研究に係る制度の在り方に関する報告書
	122 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
	211 調剤薬局における薬歴記録の取扱い
	212 規制改革会議公開ディスカッション「医薬分業における規制の見直し」
	41 財政健全化計画等に関する決議
	416 経済財政運営と改革の基本方針2015、規制改革実施計画
	101 患者のための薬局ビジョン
	111 特定難病病種に対する農中給薬の創薬及び試験結果を踏まえた対応について

- 病院から地域へ
- 治療から予防へ
- 医師単独からチームケアへ

第25回日本医療薬学会年会(横浜)年会長講演 2015.11.21

薬剤師
モノから人へ

シンポジウム

薬剤師が担う チーム医療と 地域医療の調査と アウトカムの評価研究

2月11日(木・祝)
13:00~16:10

日本薬学会
長井記念ホール

① 医療スタッフの協働・連携で作成した
プロトコールに基づく薬剤師による
処方入力支援と薬物治療管理
東京大学大学院薬学系研究科 山田 清文

② HIV外単における医師・薬剤師協働
プロトコールに基づいた薬物治療管理
三浦大学大学院薬学系研究科 奥田 真弘

③ 療養病棟における
入院時処方支援プロトコール
徳島大学大学院薬学系研究科 伊藤 裕子

④ 地域医療におけるPBPmの現状と可能性
フナマツクリニック 伊藤 裕子

⑤ 地域の医師と薬剤師の連携による
経院治療プロトコール～モデルの構築～
京都府立医科大学 原 和夫

⑥ プロトコールに基づく薬物治療管理
(PBPm)の導入プロセスと留意点
徳島大学大学院薬学系研究科 佐々木 昭

